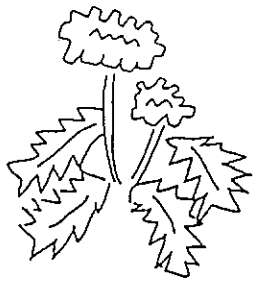


NO 183  
 H14年9月1日  
 -発行-  
 7869-1217  
 熊本県菊池郡  
 大津町森54-2  
 社会福祉法人  
 三気の会  
 三気の里  
 ☎096-293-8100



とふてぶてしくうそをぶいている。  
 中村先生はKを身支度させて、外  
 につれ出した。腹いせのようだが、  
 今夜はリンゴを買ってきてKにし  
 こたま食べさせてみようと思った。  
 二月の星空のしたに瀬田川は黒々  
 と流れていた。夜更けた戸外の風  
 は身をきるように冷たい。中村先  
 生は身震いした。(彼は往年、腎  
 臓結核で片方の腎臓を手術で失っ  
 ていた。それで、「片腎」だと自  
 称していた。)

K

施設長 松田 健

「糸賀一雄先生の著書『この子らを世の光に』(柏樹社)の一節をご紹介します。近江学園は糸賀氏によって戦後すぐに建てられた施設です。戦後の施設は戦災による浮浪児を受け入れていたようです。職員も住み込みで寝食を共にして  
 いており、当時は戦後まもなくということもあり「脱走・盗難・暴行など大小さまざまな事件が絶えず、職員は、それらにふりまわされ、手を焼いていた」ようです。

K君は、戦後五年目の当時十三歳で自分より年長の二人の浮浪児をつれて学園にやって来ました。K君の父は「大阪の軍需工場の旋盤工であったが、昭和十五年に応招して、十八年に戦死した。」母親は、「九歳を頭に四人子どもかかえて、生活にあえいでいるなかで、Kはしだいに学校や町内で盗

みを覚え、ついに十歳のとき、山口県の母の実家にあずけられたが、そこもすぐ飛びだして大阪に帰ってきた。それからKの十カ所ちかくの施設まわりがはじまったのである。脱走・収容また脱走という生活の中で、Kはいつのまにかスリの名人になっていた。最後に四国高松の一時収容所にいたときに、近江学園の話を書いて、十七歳のH、Mと謀って、ここを脱走しました。

Kの盗癖はなおらず、そのたびに職員が警察に引き取りにいったりと、すさんだ生活をしていました。しかし、実の母親と面会したことから少しずつ心の変化がみられ、盗みは無くならずとも発覚したおり、今までのような悪態をつくことなく謝るようになりました。なお、引用文に出てくる中村先生とはのちに弘済学園の園長を長く勤められた方です。

少し長くなりますが以下転載します。私は、福祉にたずさわる先輩の凄さ、素晴らしさに心を打たれ、しばし号泣しました。この道で生きていきたい、先人の偉業に近付きたいと強く思った一冊です。「職員が階下で会議をしていると、就寝後にKがリンゴをかじっているという友人のしらせがあった。中村先生は子どもたちの部屋にいて、寝たふりをしてるKを起こして、隣の自分の部屋につれてきた。

これは盗みの現行犯というよりも教育のチャンスであると直感した中村先生は、Kと静かに話し合おうと思ったのだった。  
 「リンゴを盗ったんだな」  
 「うん、とった」  
 「どうして先生にいつてくれなかったんだ」  
 「いえばくれないにきまってらあ、そいでとったんや」

南郷の町はずれにある小さな八百屋を起こして中村先生は風呂敷にいっぱいリンゴを買った。それをKにもたせて、ふたりはとほとまた学園にかえってきた。そのみちすがらKは、「先生、俺なア、なおそうなおそうと思ってるのになおりません」といって、しくしく泣きだした。

「そうか、やっぱりなあ、しかしそう思っただけでは、なかなかやめられんものよなあ。昔、スリの名人といわれるひとがいたそうだが、そのひともやめたいと思って苦労したがやめられん。結局この二本の指が悪いのだといつて、右手の人差し指と中指を切ってしまったということだ」

中村先生がこんな話をしながら  
暗い夜道を歩いてくると、学園の  
表坂がもうすぐそこに見えるこ  
ろで、

「Kよ、お前も本当にやめたかっ  
たら、この瀬田川にとびこんでみ  
そぎでもするくらいでないとかか  
んわ」

ひとりごとのように中村先生が  
ふという、反射的にKはだまっ  
たまま、つと表坂のすぐ下の川岸  
の方へおりていくではないか。ハッ  
とした中村先生はすぐそのあとを  
追って川岸におりていった。

Kはもう洋服を脱ぎはじめてい  
た。瞬間のとまどいと後悔に似た  
ものが心をかすめたけれど、中村  
先生は事態を直感して、自分も服  
を脱ごうとした。

「先生はやめとき。風邪ひくさか  
い」というKのいたわりの言葉も  
聞きすて、こうなったら後にひけ  
ない中村先生は、すっかり裸になっ  
て、Kといっしょに手をとりあい  
ながら、二月の瀬田川のなかに入っ  
ていった。暗い水の流れ、凍るよ  
うな星のまたたき、二人はこの川  
のなかで、どちらかともなく抱き  
あって、そのまま声を出して泣く  
のであった。

坂道を登りつくすまで、二人は  
何も言葉をかわさなかった。

翌朝、早く、中村先生の部屋の  
襖がスーッとあいてKの坊主頭が  
覗いた。中村先生は寝たまま目を  
開いた。二人の眼と眼がカッチリ  
と出合った。Kはにっこりすると、  
びっしりと襖しめて遠ざかって  
いった。中村先生がどうかなくて  
いないかと心配になって、様子を  
見にきたものとみえた。

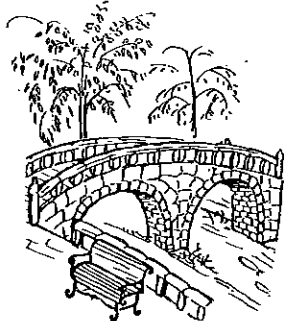
その日のKの日記に、

「ぼくは今日もスリをやりたいと  
思ったけれど、中村先生のことを  
思っでやめた」

と書いてあった。中村先生はその  
あとに、

「ありがとう、ありがとう、たの  
むよ」

と朱書した。毎日のようにこうい  
う日記のとりかわしがつづいて、  
とうとうKはスリの習癖を克服す  
ることができたのである。」



食養生習業中

就労ケア科便り

田之上 健一

「くり」

今回は、もうすぐ旬の「くり」  
の栄養についてです。主成分は糖  
質。強い甘みがあって柔らかく、  
タンパク質、脂質、ビタミン、ミ  
ネラルも期待できる量が含まれて  
いることから、幼児やお年寄り、  
病中病後の人などに最適の滋養食  
品と言えます。ミネラルではカリ  
ウムが多いので、疲労回復や高血  
圧予防にも役立ちます。食物繊維  
も豊富で便秘予防になります。

漢方的な薬効としては、胃腸を  
じょうぶにする働きがあり、胃腸  
が弱くて食欲が無い人、疲れやす  
い人、下痢しやすい人などに効果  
があります。また、足腰がだるく

て力が入らない、筋骨が弱いなど  
の症状にも有効です。葉は皮膚疾  
患の改善に用いられています。利  
用法として、焼きぐりやゆでぐり  
でシンプルに食べるほか、くりご  
はん、渋皮煮、甘露煮、きんとん  
などに。家に栗の木がある方は、  
乾燥させた葉を袋に入れて入浴剤  
にするとかせもが改善されるそう  
です。一度、お試しください。

前田



朝夕がだんだんと、涼しく感じ  
る今日この頃です。作業の方もエ  
アコンなしでできるようになっ  
てきました。さて、就労ケア科の  
メンバーに7月、第一回目の作業  
収益からの給与支給がありました。  
まだまだ練習段階で作業収入も少  
なく少額なものでしたが、金額に  
関係なく頑張った事への結果です  
ので本人達にとっては嬉しいもの  
であった様です。今後は技術にし  
ろ、取り組む姿勢にしろどんどん  
向上してしますので、頑張りに対し  
ての給料として支給金額を増やせ  
ればと思います。

今後は9月より作業場所につい  
ても変更となり、より実践的なシ  
ステムに近づけ、作業訓練棟とし  
ての位置づけではなく、職場とし  
ての位置づけで稼働していく事を  
切望しながら行って行きたいと思  
います。

作業に参加している「ルリ子」  
さんより、給与明細は入れてねと  
の注文、全員入れましたが、その  
顔はどこか誇らしげでした。

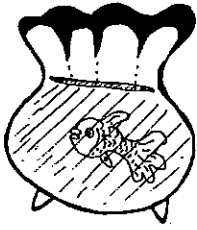
地域支援交流科

夜風が少し涼しくなり、夏の終わりを感じる今日この頃ですが、皆様がいかがお過ごしでしょうか。さて7月26日に行われた三気の里の夏祭りに森の子供会様など多数参加していただきありがとうございます。大盛況で終了することが出来ました。

また8月17日に森地区の夏祭りに利用者、職員参加させて頂きました。いろいろなコーナーがあり、参加者全員大満足といった感じでした。

最後に18日の4R白川では、地域の方々と汗をかきながらゴミを分別しましたが、毎回このようなすばらしい活動に少しでも参加出来てうれしく思っています。

9月は、28日(土)に三気の里の運動会が催されます。是非遊びに来て下さい。



夏祭り

去る7月26日、満点の星空の下、三気の里にて夏祭りが行われました。今年の夏祭りは企画の段階から利用者の方々に加わって頂いたことで、「自分達で作りあげたんだよ」と言わんばかりにイキイキとした表情で夏祭りに参加する皆の姿を見ることができました。又、見違える程キレイになって登場した女性利用者の面々のはにかむ姿が印象的な、心に残る夏祭りとなりました。大成功!! 平山

後援会募集のご案内



三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぽぽ」をお送り致します。振振りいひみ出儿

口座番号

0197018114902

社会福祉法人 三気の会后援会

保護者会代表 魚谷 秀文 宛

住所

熊本県菊池郡大津町森5412

一口 3千円

団体は、一万円より

後援会ありがとう

- 百崎 末雄 木本 博明
- 山口祐規子 満原 一清
- 宇和田幸子 東嶋 敏子
- 小島 紀男 角田 義綱
- 榎本貴美子 芳川 知洋
- 才畑 敏晴 松本 了
- 本多 邦雄 吉岡 智昭
- 薄本 冬子 森 裕三
- 堤 耕一郎 小篠 武明
- 藤川 和章 富 淳美
- 宮崎 恭一 園田 正春
- 宮原富美子 西村 栄子
- 高田智香子 川島 来男
- 田上 靖浩 末反 祥正
- 吉田 俊人 渡辺よし子
- 中村 秀明 大野 博樹
- 湖本 圭輔 高橋 頌慈
- 副島真一郎 東田 昌子
- 徳本 和浩 相良久仁子
- 古木 満雄 高森 毅
- 守 且孝 門岡 蓉子
- 財賀真理子・彌至
- 新田 貴之・真理
- 木山 程荘 創文印刷
- (有)後援会 伏貫 直美
- (有)熊進企画
- (株)ヨネカワ

(株)レモンガスクまもと

(株)天津野製粉 代最穂 荒木 時彌

(株)南九イリヨ

くすのき子供歯科 逢坂 亘彦

医療法人 福田医院

(資)白浜米穀店 白浜 智也

福岡 敬祐

田上歯科医院



8月研修報告

13日~15日 かくたつ夏季合宿 大石由・江藤

16日~22日 心理リハキャンパ 木下・岩田

23日~24日 雲仙コロニー見学 松田・砂野・榎本・大石由・上野・石田

阿南・高橋・佐藤和・菊池・伊豆野

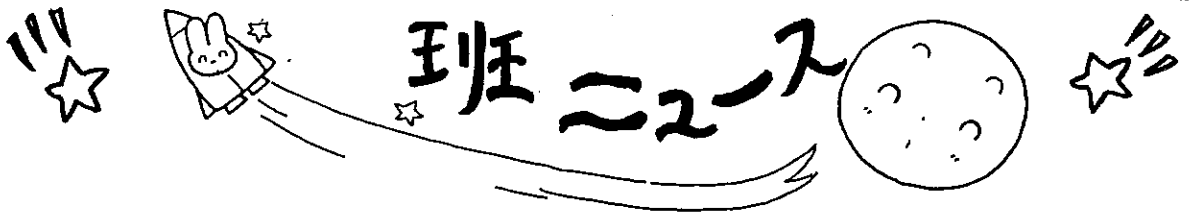
三気の里メールアドレス紹介



三気の里についてのご意見、要望その他何でも結構ですのでぜひメールをお送り下さい。

皆様の声をお待ちしております。 URL <http://www7.ocn.ne.jp/~sanki>

E-mail [sanki@siren.ocn.ne.jp](mailto:sanki@siren.ocn.ne.jp)



### 3班・大介さんの夏休みの

3班のビーズ製品製作隊長こと大介さんはこの夏休み、お母さんの仕事の都合で帰宅が1泊×2回と少し寂しい夏休みでした。(決してお母さんが悪いわけではありません。誤解の無いように…)しかし三気の里での夏休みは彼にとってとても充実したものとなったでしょう。まず8/1つくしの里の夏祭りに参加しました。カレー、焼き鳥、ホルモン煮込み、とうもろこし、自分でチケットを出店の人に渡して「買い物」を沢山しました。抽選会では惜しくも番号が1つ違いで賞品こそ逃しましたが楽しい一時を過ごせました。8/4～8/5には久住に登山して坊がつるという所に1泊しました。途中3回ほど転んで「イタイ」とっていました(もちろんケガはありません)。その後も毎日のようにドライブに出かけ、熊本市内方面、菊池方面、阿蘇方面、鹿本方面、いろんなところに遊びに行っています。もしかしたらいちばん今年の夏休みを楽しんだのは大介さんかもしれませんね。 高橋

### 4班・頑張るぞ～!

朝晩の風がとても心地よく、秋ももうすぐそこまで来ていることを予感させてくれる今日この頃ですが皆様いかがお過ごしでしょうか?現在私たち農耕班では、なす、きゅうり、糸瓜の栽培を行っています。夏季帰宅の休み中で作業が半月ほどなかったのですが、その間も容赦なく雑草が生い茂っており、現在草取り作業に追われています。7月より隆博さんとルリ子さんが就労ケア科に行くこととなり、とても頼りにしていた二人ただだけに農耕班にとってはかなりの痛手となったのですが、現在バイクの部品組み立ての下請け作業を頑張っています。先日初給料も支給されますますやる気になっているようです。8月26日には三気の里の利用者の方全員にほんのわずかなのですが初の給料が支払われます。給料を貰えることでみんなのやる気がますますアップしてくれればと願っています!その為にももっと収入が得られるよう職員が頑張らなければいけないと思っているのですが…。私たち農耕班も卒業生の二人に負けないよう頑張っていきたいと思っています。 石井

### 2班・作業物語

夏季帰宅訓練が終わり、みんな大きな病気などすることなく元気な姿で帰園してきていることは何よりうれしいことです。

さて昨日よりネット作業を再スタートしましたが、しばらく作業から離れていたためペースが落ちるかなと思っていましたが、そんな不安はみんなの作業ぶりをみて吹っ飛びました。みんなそれぞれの持ち場で黙々と生き生きとした表情で頑張っていました。完璧にネット折りをしている方紀さん、意欲的にネット組みをしている明日香さん、雄一さん、ネット折り⇒袋詰めまできちんと作業をしているさゆりさん、綾子さん、与えられた量を丁寧にネット折りをしている幸恵さん、聡士さん、快調なペースで作業を進める淳さん、泰さん、職員より速く袋詰めをしている由布子さん、安定したペースでネット組みをしている博さん、作業量が増えてきている一裕さん、おしゃべりが減り、集中力が増した文彦さん、作業スピードがアップしている泰貴さんです。1日の作業の進み具合に、本当にびっくりさせられました。明日からが楽しみです。今後さらにレベルアップするようにみんなで協力して頑張っていきましょう。

ファイト!

植本

## 6班・手すきハガキ…秋バージョンは？

夏季帰宅訓練も終わり、また作業棟に活気が戻ってきました。7月はインターナショナルケミカルで実習中だった民さんが、また紙すき作業に戻って、きれいなハガキを作ろうと毎日苦心しています。民さんの弱点はハガキの耳？。とっても器用でどんな作業も手早くこなす民さんですが、手早いだけではハガキの周りに繊維が広がってしまいます。そこで一手間かけて（ここは内緒）耳のそろった角のあるハガキにしているのです。背中を丸めて丁寧に丁寧にハガキをすく姿はとても意欲的で輝いて見えます。出来上がったハガキは現在3枚組みで販売中。その中には季節に合わせて貼り絵で作った絵ハガキもあります。夏バージョンは、ひまわり、ぶどう、団扇でした。季節は秋…6班のハガキにはどんな秋が描かれるのか乞うご期待。気に入ったら「お買い上げ」お願いします。 大賀

## 5班・それぞれの夏休み

皆さん夏休みはどうでしたか？海に行った人、遠い国まで行った人！家でクーラーとお友達だった人、いろいろな夏休みを過ごした事でしょう。三気の里では毎日のようにドライブや買い物などに掛かっています。陽治さんは人一倍車やバスが大好きです。自分がドライブのメンバーに入っているものなら、（いつもは居室にて演歌を聴いたり、アルバムを見ているはずなのに…）プレイルームにちゃっかり準備OK！とばかりにすまして座っています。マイクロバスやワゴン車の前の席を陣取ろうと必死で車に乗り込みます。しかし、結果はというと競争率が高く、なかなか座れません。それでもめげずに涼しい顔をして乗っている陽治さんです。帰宅した際、ドライブで川に入って遊んだこと、ジョージアコーヒーを飲んだことをお母さんに沢山話したそうです。しっかり記憶に止めて話せるって良いですね。その楽しい思い出を何回も共有出来るのですから。

ということで…夏休みも終了し、さあ作業です。どんなものかな？と思っていましたが、なかなかのもので集中力も衰えず、よいスタートを切ることが出来ました！出来るだけ高い給料目指してバリバリ働くぞ！

木佐賀

## 1班・班 ニュース

まだ8月下旬というのに9月下旬のような気候のこの頃です。朝夕肌寒い毎日、皆さん体調はいかがですか？ 三気の皆は風邪をひくこともなく元気一杯の毎日です。さて、長い夏休みも終わり、ようやく作業が再開されました。今月より給料を支給する事になり、職員もこれまで以上に燃えています！そのような中、1班のスタートは「製品入荷なし」と言う厳しい現実…。(この状態でこれから給料を払えるのか…。)心配に心配を重ねている矢先、追い打ちをかけるように舞い込んだ一通の明細書。先月の作業収入でした。そこに記されていた数字は、思わず自分の目を疑う金額。一人絶望感に打ちひしがれ、皆に会わせる顔が無い…と暗い私に「パッキンある！」のたっちゃんの一声。「もちろんあるよ！」と強がって答えては見たものの、どうしようかと思い悩んだ一時でした。しかし、そんなたっちゃんや皆の思い（?!）が通じたのか、何と、次の瞬間に「製品有り」の朗報が舞い込んできたのです！！もちろんこの日は全員で製品を取りに行き、清々しいスタートを無事に切ることが出来ました。現在の厳しい社会情勢は、私たちにも例外なく影響を及ぼしています。現状では、まだまだ心配の方が大きく皆に申し訳ない気持ちで一杯です。「労働の喜び」は人間にとって無くてはならないこと…もっともっと安定感のある仕事の提供をしていかなければなりません。内職のプロを15人抱えて、課題は山積みです。でも、そんな荒波に飲み込まれる事なく、しっかりと頑張っていくと思います。…今回はチョット暗い話でしたが、これもまた1班の裏の顔でも有ります。そんなウラ事情を踏まえうえで、応援よろしくをお願いします！

☆P S : 何か割の良い内職の仕事ありましたらご紹介下さい(笑)。

大石由

## 療育雑誌記

母親の言葉

佐藤 香織

「好き？愛してる？」というちょっと恥ずかしいような言葉をいつも口にするのはMさん。指導員の目が自分に向いていない時に必ずこの言葉を言って愛情確認をする。何故なら彼の母親は遠く離れた県外に在住の為、なかなか会うこともできず、年がら年中母親はいつ来るのかばかりを気にしている寂しがり屋なのである。

そんな彼の状態が一変したのは今年2月。年に2、3回来園される母親との外泊から帰園した直後であった。H・R、食堂等人が多く集まる場所で奇声をあげ、暴れます。3月に入ると、急激に人と過ごせない、作業ができない、睡眠がとれない状態にまで悪化した。また、入所して10年今まで彼の行動にはなかった食事を投げたり、自分の頭を壁に叩きつける自傷行為までも見られるようになった。それはまさに自殺行為に限りなく近い行動のように思われた。そしてこの彼の行動は私達指導員に

「助けてくれー」と叫んでいるかのようにも思われた。何が彼をこのような行動にさせてしまうのか。その時はまだわからなかった。

ある時、彼は死ぬ気で暴れながらも言葉を初めて叫んだ。「お母さん死んだらどうする！」と。彼の母親に、彼の現状とこの彼の言葉を電話で伝えると、母親は2月の外泊の際、「お母さんはいつ死ぬかわからない、今後は今までもたいには会いに来られないかもしれない、だからあなたも自立して欲しい。」という事を本人に伝えたとのことであった。一見冷たく感じとってしまいがちなこの母親の言葉であるが、ある意味この言葉は母親の彼に対する正直な気持ちなのである。ただ現在の彼にはこの言葉の意味を理解できる力がなく、母親が死ぬのではないかと、母親に会えなくなるのではないかと、という不安だけが残ってしまったのである。それから、園では彼の興奮時には一貫した取り組み(寝かせ)を行うと共に医療機関との連携で投薬調整を開始した。と同時に母親から彼に電話で話をしてもらった。母親は「7月に会いに

来る」ということを彼に約束した。この電話の直後から彼は変わった。突然暴れだし自傷をすることが減り、徐々にだが人と一緒に過ごす時間が増えた。そして6月には睡眠も安定し、以前の彼の状態にまで落ち着いていた。

7月、半年振り約束どおりに母親との外泊が実現した。前回の外泊では5泊とも旅館を利用し、周囲に気を遣いすぎて彼にきつく当たってしまったと反省された母親は、今回の外泊にウィークリーマシオンを準備された。以前は、外泊中に水分や食物を異常に摂取してしまふことで、顔がパンパンに腫れたり、母親の手に負えず途中帰園することが恒例であった。しかし今回は予定通りの10日後に帰園してきた彼の表情はいつになくスッキリとしていた。母親と上手に過ごすことができたことを物語っていた。

2月の帰園の際彼と母親の外泊中の様子を詳しく聞かなかったことから、彼の不安定な状態の原因究明、対応が遅れたことでさらに状態を悪化させてしまったことがこのケースでの最大の反省点であ

る。その為今回初めて母親との面談を行った。今回の彼の不穏時の状況から彼の生い立ち、将来についてだけでなく、母親の彼への想いを聞くことができた。彼自身、そして家庭環境を知ること、Mさんという人物像を解りかけてきた気がする。担当して3年目にしてはじめて、今ようやくスタート地点に立つ事ができた。今回の彼の不穏状況から元の状態に戻るまでは、悲しくも指導援助の甲斐あつてではなく、全て母親の言葉に あつたと思う。それは彼がいかに母親を求めているかという事を示すと共に、彼自身が母親以外の生き甲斐を持ち合わせていない事を表している。母親との関係を良い状態に持続させていく為に、担当として彼と母親との懸け橋になる様援助すると同時に、母親以外に彼がこの三気の里で生活していく上での生き甲斐・目標になるべき楽しみを見いだせる指導・援助を行うことが、今後私に課せられた課題である。常に愛情の確認をしなければならぬ寂しがり屋の彼から、生き甲斐・目標を持った自信ある男性になって欲しい為に。

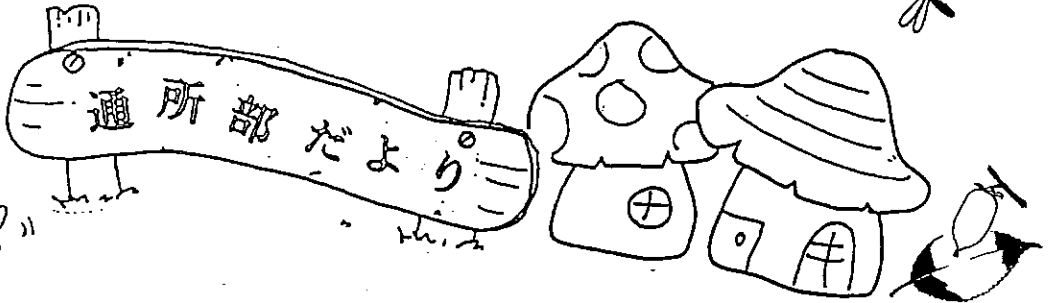
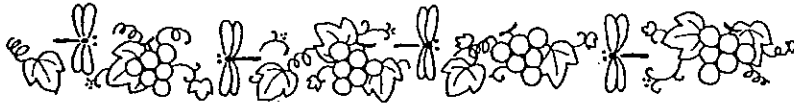
現在の彼はというと、以前の様な母親の次回来園を気にする言葉より、7月の外泊が楽しかったという言葉を多く口にするようになった。そこで7月の母親との楽しかった思い出と感謝の気持ちを通し、初めて母親に手紙を書き送った。今、その返事が届くのを楽しみに待っている。

事務だより

二週間前にひいた風邪が、治らないままお盆も過ぎ、残暑の中、「免疫力落ちたなあ。歳かなあ？（ウーン認めたくない）」と一人呟いています。この世に生かされる使命を忘れ、生活ばかりに目を向けていた報いでしょう。

ところで、事務所は来年度から始まる新制度・会計基準の変更に対して、只今、嵐の前の静けさ状態（不安）です。心身共に体力をつけておかねば…と日頃の不振生を反省するこの頃です。

森岡



通所部通信

8月の通所部は、本当に忙しい毎日を送っています。三気の里恒例4日間の実践キャンプの期間と1週間の夏季休暇に伴い、休日明けの作業は、毎月同様2万1千個のノルマに追われる日々…。業者の下請けとして給料をもらっている以上、当然のしかかる重みです。頑張るしかありません。

そんな状況でスタートした連休明けの通所部。「のん気に過ごした休日明けに、ちゃんと仕事が出るのかしら？」と、彼らの様子を心配していた親御さん達。そんなお母さん達の心配をよそに、みんなの仕事ぶりは、大したものでした。4ヶ月の積み重ねは、仕事の内容・流れをしっかり記憶していました。全く動じる事なく、すんなり作業に取り組めていました。しかし、どんなに頑張っても、間に合いそうにない数値が弾き出され、応援をお願いする事に。その為、応援の為に色々な人達の出入りがある中で作業を経験する事

になりました。いつもの一工程に一人という整然とした流れではなく、一工程に二〜三人もの人が入る状態での作業。ただでさえ狭い空間に、いつもの倍位の人が行き来する訳ですから、慌ただしくザワついた中で作業になります。

人環境で左右されやすい利用者が多い中、どうなる事かと心配したのは、今度は指導員の方。若い女性職員の存在にニンマリする利用者あり、触ろうとする利用者ありという場面を見せられる結果となりました。それでも、「あれ、変な大人の人って思われるよー」という指導員の声に、サツといつもの真面目な表情に戻り、仕事に専念しています。仕事への意欲と同時に、大人（一社会人）としての意識も高めていけたらいいなあと思っています。

月末までに2万1千個！皆の応援のお陰で、後もう少しになったよ！みんな、一緒に頑張ろうね！

伊豆野



9月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考	
1	2	3 金森さんの誕生日(34) ☎ 1班レク	4 ☎ 5班レク	5 ☎ 4班レク	6	7		
8	9	10 藤井さんの誕生日(20)	11 ☎ 3班レク	12 ☎ 2班レク	13	14 真一郎さん誕生日(29) ☎ 家族会		
15	16	17 健二さんの誕生日(26)	18	19 ☎ 誕生会 ✍ タンポポ編集日	20 ☎ 6班レク	21 松村さんの誕生日(29)		
22	23	24	25	26 小島さんの誕生日(27)	27	28 🏃 運動会		
29	30	☎ 金森さん・真一郎さん・健二さん・松村さん・小島さんお誕生日おめでとう! ☎ 8日 ベタンク競技、☎ 14日 保護者会、☎ 19日 誕生会、🏃 28日 運動会						



ポランティア通信

まだまだ日中は暑い日が続いています。阿蘇の麓にある三気の里では朝晩は秋を想わせるような涼しさを感じられるようになってきました。皆さんいかがお過ごしでしょうか？

7月26日(金)に行われた夏祭りには今年もたくさんの方々がポランティアの方々に来ていただき三気の里の利用者の方、並びに職員一同大変うれしく思っています。9月28日(土)には運動会、11月9日(土)には三気の里一番のイベントである開園記念祭を予定しています。夏祭り時同様たくさんの方々がポランティアの方にお越しをお待ちしております。興味のあられる方はポランティア担当(菊池・平山・木佐貫・山下・石井)までご連絡下さい。

(ポランティアありがとう)  
☆夏祭り

- 上田 順子 徳永 裕子
- 竹崎 友香 朝倉みなみ
- 坂本瑛里香 今村めぐみ
- 村山 美帆 島岡 由起
- 本田千砂代 平井 研二

- 前田 武志 中村 理美
- 福本 美穂 相馬 由佳
- 中山 沙織 森山 恵梨
- 西代 沙織 松田 悠介
- 松岡 雅史 作村 真司
- 小関 政弘 山内 大輔
- 山部 裕輝 坂本菜帆子
- 磯部 武志 阿瀬知隆二
- 田中 信久 阿瀬知秀子
- 山田千恵子 谷方 寛子
- 宮崎 恵 村上すみ江
- 井川 弘美 芹口由美子
- 嶺 綾乃 林谷由起子

☆演奏ポランティア 井川マリコ

☆生け花 西村 栄子

☆除草作業 永吉 ゆり (敬称略)

お詫び

先月号で、永吉ゆり様のお名前間違いがありました。深くお詫び申し上げます。

編集後記

今日のたんばば編集では、慌ただしく会話が飛び交いながら進んでいる今であります。その内容は……！(そんな中、一人ざるそばを早く食べたいと思いつながら編集後記をうっている私です…)江藤